GoToIYOキャンペーン

https://www.w-nexco.co.jp/

愛媛県伊予市と、NEXCO西日本四国支社は、高速道路を活用して新たなクルマ旅を楽しむことを目的とした観光需要創出キャンペーン「県・市町連携事業！新！GoToIYOキャンペーン～高速道路を使って中山に行こう！～」を令和4年9月16日（金）から開始する。

このキャンペーンは、「旅っチャ 伊予ええくじ」「ETC deおいでんか！なかやま券」「伊予じまんデジタル de スタンプラリー」の3つのイベントから構成され、高速道路を利用して伊予市に行くと、伊予市のグルメ、観光、ショッピングなどをお得に楽しめる内容となっている。

阪神高速 ETC乗り放題パス2022

阪神高速株式会社は、9月9日（金）から阪神高速沿線施設のクーポンが付いた「阪神高速ETC乗り放題パス2022」の販売を開始した。

目玉企画の「旅っチャ 伊予ええくじ」は、松山自動車道 石鎚山SA（下り線・大洲方面）に設置したカプセル自販機「旅っチャ 伊予ええくじ」（1回500円）に、伊予市内の飲食店、小売店等の中小店舗を中心とする加盟店で使える「GoToIYOクーポン券」が入っており、SAに立ち寄った利用者と地域の日常とを小型自販機で結び、SAを「地域の誘客拠点」とする試みである。

《開催期間》
令和4年9月16日（金）～10月16日（日）
◇「GoToIYOクーポン券」の利用は10月31日（月）まで
◇「伊予じまんデジタル de スタンプラリー」の応募は10月18日（火）までページで。

《定員》
各設定日につき、先着4，000名

《対象車両》
ETCシステムを利用する普通車または軽・二輪
※中型車、大型車、特大車は対象外。
※ETCクレジットカード又はETCパーソナルカードでの利用に限る。
※高速道路会社が発行するETCコーポレートカードは対象外。

《受付期間》
令和4年9月9日（金）10：00～令和5年3月26日（日）利用前まで

《利用可能回数》
期間中1枚のETCカードで10回まで申込み可能
※普通車、軽・二輪を組み合わせて10回まで。
※乗り放題パスを、申込みした日に利用しなかった場合は、乗り放題パスの料金は請求しないが、利用可能回数は利用されたものとして計算する。

《申込み期限》
利用当日の阪神高速利用前まで
※利用後の申込みは乗り放題パスの対象とならない。
※申込上限人数に達していた場合は、申込みは出来ない。

《キャンセル期限》
利用予定日前日の24時前まで
※利用日当日の申込みはキャンセル出来ない。
※申込みをキャンセルされた場合、利用可能回数には入らない。

《車種の変更》
すでに登録している車種〈普通車〉〈軽・二輪〉は変更可能である。
なお、当日の車種変更は1回限り可能である。変更後の車種が乗り放題パスの対象となる。
同日に〈普通車〉〈軽・二輪〉の併用は出来ない。

《申込み状況・利用価格》

	全地区	地区別（東地区・西地区）
普通車	1,680円	1,110円
普通車【ETC2.0】	1,600円	1,050円
軽・二輪	1,420円	960円
軽・二輪【ETC2.0】	1,340円	910円

※乗り放題パス利用の際は、利用になった通行料金が乗り放題パス利用価格に満たない場合でも乗り放題パス利用価格を請求する。

《提携クーポンの確認》
申込みした内容や提携施設のクーポンは、申込み状況の確認ページより確認出来る。
※登録したメールアドレスへ送信される受付完了メールからも確認出来る。

《特典》
阪神高速沿線施設のクーポンが付いている。

https://www.hanshin-etc.jp/md/2022/index.html

主張

地域との連携により踏切対策を加速せよ

今年7月、踏切道改良促進法に基づく災害時の管理の方法を定めるべき踏切道が191箇所追加指定された。昨年6月に指定された181箇所に続いての指定となる。令和7年度までに、指定済みのものを含めて約500箇所の指定を目指すそうだ。

この指定制度は、平成30年6月に起きた大阪北部地震の際に、列車の駅間停止等によって多数の踏切道が長時間の遮断を余儀なくされ、救急救命活動に大きな支障が生じたことがきっかけとされている。

指定された踏切道の鉄道事業者・道路管理者は、災害時の踏切道の管理方法として「警察・消防などの関係機関との災害時の連絡体制」「長時間の通行遮断の解消に向けた手順、情報提供の仕組みを定めた対処要領」「定期的な訓練の実施」等を定める必要がある。救急救命活動の円滑な実施につながることを期待したい。

踏切道そのものに目を向けてみると、踏切道改良促進法施行後60年あまりの間で、改良すべき踏切道が指定され、期間を定めた集中的な対策が講じられた結果、踏切道の数は半減し、踏切事故件数も大幅に改善してきたと言えるが、いまだに踏切事故が約2日に1件のペースで起きていることは、残念なことである。

「開かずの踏切（ピーク時遮断時間40分以上）」や「自動車と歩行者のボトルネック踏切（交通量が多く、渋滞や歩行者の対流が発生）」など、抜本的な対策が必要な踏切道の多くは、都市部等の交通の要衝に存在することから、対策を調整する期間が長期にわたる傾向にある。このことも踏切事故対策の進捗を阻む要因となっているのだろう。

このような事情もあって、令和3年には、踏切道改良促進法が改正され、踏切道に関する指定・改良年限（5年間）が撤廃・恒久化されたことにより機動的な対応が可能となった。また、踏切道周辺における迂回路の整備、踏切遮断中の歩行者滞留スペースの確保や新たな駅改札口の追加など、踏切道の改良メニューが拡充されている。これらが踏切対策のさらなる前進につながると信じて疑わない。

最終的には、立体化等による踏切道の除却等、抜本的な対策が待たれるところではあるが、一たび発生すると、重大な結果をもたらす踏切事故を看過することはできない。鉄道事業者と道路管理者との協力はもとより、地域の関係機関や住民との連携も含め、ソフト・ハード両面から取り得る限りの対策を総動員した効果的な踏切対策が期待されるところである。

お盆期間における高速道路の交通状況（速報）

令和4年8月10日（水）～8月16日（火）：7日間
※比較対象は令和元年8月8日（木）～8月18日（日）：11日間
※（参考比較）令和3年8月6日（金）～8月16日（月）：11日間

交通量／全国の高速道路の主な区間（代表40区間）

		令和4年実績①		令和元年実績②		対比①／②		参考 令和3年実績③		参考 対比①／③	
平均日交通量（全車）		42,200台／日		47,500台／日		89%		29,500台／日		143%	
（小型車）	（大型車）	35,700	6,500	40,300	7,200	89%	90%	23,000	6,500	155%	100%
最大日交通量		45,900台／日		56,900台／日		81%		35,300台／日		130%	

混雑状況／渋滞回数（10km以上の渋滞回数は、30km以上の渋滞回数を含む）

	令和4年実績①	令和元年実績②	対比①／②	参考 令和3年実績③	参考 対比①／③
10km以上の渋滞	181回	476回	38%	82回	221%
うち30km以上の渋滞	10回	40回	25%	1回	1000%

特に長い渋滞発生箇所（各社の上下別ワースト1位）

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生箇所	渋滞日時（ピーク）	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	関越自動車道	高坂SA付近	8月10日（水）10時05分頃	32.9km	交通集中及び故障車
	上り線	関越自動車道	鶴ヶ島IC付近	8月12日（金）17時25分頃	36.8km	交通集中
中日本	下り線	中央自動車道	上野原IC付近	8月11日（木）9時30分頃	46.2km	交通集中及び事故
	内回り	首都圏中央連絡自動車道	八王子JCT付近	8月10日（水）11時30分頃	35.3km	交通集中及び事故
西日本・本四	下り線	名神高速道路	旧山科BS付近	8月10日（水）18時05分頃	32.2km	交通集中及び事故
	上り線	名神高速道路	大津IC付近	8月11日（木）10時25分頃	30.2km	交通集中

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇**秋田自動車道**　北上JCT～北上西IC
10月3日(月)～25日(火)　各日20:00～翌6:00
◇**中央自動車道**　内津峠PA(上り)
10月1日(土)～10月9日(日)　各日21:00～翌5:00
◇**東海北陸自動車道**　白川郷IC～小矢部砺波JCT
10月24日(月)～11月4日(金)　各日20:00～翌6:00
◇**山陰自動車道**　松江玉造IC～出雲IC
9月26日(月)～10月25日(火)　各日20:00～翌6:00
◇**松江自動車道**　三刀屋木次IC～宍道JCT
9月26日(月)～10月25日(火)　各日20:00～翌6:00
◇**山陰自動車道（安来道路）**　米子西IC～東出雲IC
10月31日(月)～11月16日(水)　各日20:00～翌6:00
◇**東九州自動車道**　中津IC～日出JCT
10月3日(月)～10月18日(火)　各日21:00～翌6:00
◇**日出バイパス**　速見IC～日出IC
10月3日(月)～10月18日(火)　各日21:00～翌6:00
◇**東九州自動車道**　大分宮河内IC～津久見IC
10月25日(火)～11月10日(木)　各日21:00～翌5:00

令和4年9月21日(水)～30日(金)
9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です
秋の全国交通安全運動